

日本神経精神薬理学会 第 58 回理事会議事録

日 時： 2014 年 11 月 19 日（水） 15：00～18：00

場 所：名古屋国際会議場 431 会議室 4 号館 3 階

（〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町 1 番 1 号 Tel. 052-683-7711）

出席者：山脇成人理事長，大熊誠太郎，荻田喜代一，尾崎紀夫，加藤忠史，久住一郎，鈴木 勉，
須原哲也，武田弘志，中村 純，橋本謙二，橋本 均，各理事
齋藤利和，馬場明道 各監事
岩田仲生 大会長

池田和隆国際学術委員長，石郷岡純 TMSC 委員長

欠席者：神庭重信，西川 徹，南 雅文，吉岡充弘 各理事
橋本亮太広報委員長，山田清文日薬連 WG 委員長

冒頭に、前回（第 57 回）理事会議事録（案）、持ち回り理事会議決事項一覧が提出され、異議なく承認された。

I. 報告事項

1. 第 44 回年会（第 24 回日本臨床精神神経薬理学会との合同開催）準備状況報告（岩田大会長）

- ・事前登録者 649 名、
- ・合同年会運営事務の遅延や不手際について、株式会社コンベンションリンケージからの報告資料に基づき、尾崎理事（CNP 大会長）より報告がなされた。

2. 第 43 回年会（第 23 回日本臨床精神神経薬理学会と合同開催）収支報告について

（仲田前大会長欠席のため山脇理事長）

2014 年 1 月に大会事務局より約 259 万の大会余剰金（CNP との折半）の振込みがあったことが再度確認された。

3. 各委員会報告

a. 総務委員会（橋本均委員長）

以下の通り会員報告（2014 年 2 月 1 日から 2014 年 10 月 31 日）がなされた。

会員数：1,158 名（2014 年 10 月 31 日現在）

内 訳：名誉会員 29 名，功労会員 27 名，評議員 231 名

正会員 750 名，学生会員 106 名，賛助会員 15 社

新入会：56 名

退 会：本人申出 54 名

物故者：5 名

多年度会費滞納による会員資格喪失：83 名

b. 広報委員会（橋本亮太委員長欠席のため橋本均総務委員長）

資料に基づき以下の報告がなされた。

- 1) 会員への情報発信として、メール配信を定期的に行うことができるシステムを構築し、年間スケジュールを事務局で管理できる体制とした。また、HP においても、情報を随時更新しており、メール配信と合わせて順調に行っている。
- 2) 年会企画 Meet the experts（梶井靖委員）
司会：堀輝（産業医科大学精神科）笠井慎也（東京都医学総合研究所）
エキスパート 臨床 古郡規雄（弘前大学精神科）臨床精神薬理学研究者への道
近藤毅（琉球大学精神科）臨床精神薬理学

基礎 仲田義啓（広島大学薬効解析科学）神経ペプチドの薬理学
南雅文（北海道大学薬理学）神経ペプチドの薬理学
－「痛みを感じる」から「痛みの情動」へ－

3) Japan night CINP2014 報告

外国人 15 名を含む 120 名の参加。同時時間帯に CINP のオープニングセレモニーが開催されていたにもかかわらず、多数の参加者であった。国内でも普段接点の無い方や CINP 役員の方と直接お話しができる良い機会となった。また、今年は、日本神経薬理学会から若手に贈られるポスター発表の受賞者全員が参加され、盛況のうちに閉会した旨報告があった。

Meet the Expert について、外国人の参加者がおられるため、日本語での話が長かった点を改善した方が良いとの意見が出された。

c. 編集委員会（南委員長欠席のため山脇理事長）

雑誌刊行状況、依頼状況、査読状況につき以下の報告がなされた。

1) 刊行状況 34 巻（2014 年）：総説 7、ミニレビュー 5 と AsCNP 優秀賞報告、新名誉会員の紹

介を掲載。

2) 依頼状況 昨年の学会シンポジウムの中から総説を依頼し 6 編ご寄稿いただいた。

3) 投稿状況 2013 年の投稿は原著 3（うち英文 1）、短報 1 の計 4 編。

2014 年投稿は総説 1 編のみであった。

4) 執筆依頼・企画

若手研究者に 4 本の総説を依頼済み。その他、2014 年の学会シンポジウムの中から依頼予定。

5) 投稿規定の一部を改訂予定。

d. 財務委員会（大熊委員長）

協議事項 4. 2015 年度予算案の件と併せて報告・審議がなされた。

1) 2013 年度収支決算について

2013 年度収支決算および神経精神薬理振興基金決算について報告され、承認された。

第 42 回、43 回年会の 2 年分の余剰金戻入収入があり、例年に比べ収入額が増えていることが報告され、異議なく承認された。

2) 2013 年度監査報告書について（齋藤監事）

齋藤・馬場両監事による監査の結果、収支の記載が適正であると認められていることが報告された。

3) 2015 年度収支予算案について

2014 年 9 月 1 日から 2015 年 8 月 31 日までの予算案となっている、2014 年 9 月 1 日から 2014 年 12 月 31 日までは任意団体と並行しており且つ任意団体からの支出となるので、予算案計上の支出より減る可能性がある旨報告がなされたうえで審議がなされ、承認された。

e. 国際学術委員会（池田委員長）

資料に基づき、以下の報告がなされた。

1) CINP

- ・2014 年 6 月 22-26 日にカナダでバンクーバー大会が実施され、山脇 JSNP 理事長が CINP 理事長、齋藤 JSNP 監事が CINP 副理事長に就任。
- ・2016 年 7 月 3-7 日にソウルでの第 30 回世界大会が予定され、第 46 回日本神経精神薬理学

年会をCINP ソウル大会と同時開催し、年会長を池田和隆とすることが、JSNP 電磁的理事会で承認されたことが報告された。

2) AsCNP

- 2015年11月21, 22日(土、日)に台北で第4回大会を開催予定。世界精神医学会(WPA)世界大会と同時開催予定。会費(年間一人当たり10ドル)の徴収を開始。JSNPは基金より一括支払済。
- タイ、インド、シンガポールのカウンセラーが新たに加わった。
- Clinical Psychopharmacology and Neuroscience 誌を Associate Journal とすることに決定。
- 2015年1月1日からTung-Ping Tom Su先生が理事長に就任し、執行委員やカウンセラーも一部交代予定。
- 2015年1月1日から事務委託を学会支援機構からコンベンションリンケージに変更予定。

3) ACNP

- 第53回年会在12月7-11日にアリゾナで開催予定。
- 第53回年会への2名のJSNP参加枠は、橋本亮太広報委員長と新田淳美広報委員に決定。6名のAsCNP参加枠は、梶井靖国際学術委員、住吉太幹国際学術委員、曾良一郎評議員、内田裕之ノーメンクレチャーワーキンググループ委員長、宮川剛国際学術委員、竹内啓善ノーメンクレチャーワーキンググループ委員に決定。何れも先着順。その後3名から応募。
- 12月10日午前7:30-8:30に行われるリーダーシップミーティングに山脇CINP理事長と池田和隆AsCNP事務局長が出席予定。
- アルバートアインシュタイン大学の廣井昇教授がメンバーシップ選考委員に就任。アステラス製薬のミッキー松本先生と合わせて、日本人委員が2名となった。

4) 製薬企業のニーズ調査

菊地委員が製薬協の国際開発委員会加盟約30社の製薬会社へアンケートを実施し、報告書を作成された。

f. 学術賞選考委員会(吉岡委員長)

1) 2014年 第3回日本神経精神薬理学会学術奨励賞について、以下の報告がなされた。

本学会評議員より推薦のあった3氏の候補者について以下の過程にて審査を行った。一次審査は、審査委員長を含めた10名の審査員で行うこととした。10名の審査スコア(4項目;各5点満点)および評価コメントを求め、一次審査を行った。それを基に二次審査を行い、2014年第3回日本神経精神薬理学会学術奨励賞として決定した。2014年11月21日に受賞講演を行い、同日開催の懇親会で授賞式が執り行われた。

【受賞者】橋本 亮太(大阪大学大学院連合小児発達学研究所
子どものこころの分子統御機構研究センター)

【研究課題】精神疾患の中間表現型研究

Intermediate phenotype studies in psychiatric disorders

2) 2014年 第3回日本神経精神薬理学会優秀論文賞について、以下の報告がなされた。

選考対象は、2013年発行分(1年間)とした。審査対象論文は、原著論文4件となった。対象論文に対して、審査委員長を含めた10名の審査員による審査スコア(5項目;各5点満点)および評価コメントを求め、一次審査を行った。それを基に二次審査を行い、2014年日本神経精神薬理学会雑誌 優秀論文賞として以下を決定した。2014年11月21日に開催された懇親会で授賞式が執り行われた。

【受賞者】久保 靖憲(旭川医科大学病院薬剤部)

【タイトル】Enhanced Depressive-like Behaviors after Toll-like Receptor 7 Stimulation in Mice

g. 長期計画委員会(山脇委員長)

執行委員会を設け様々な計画を立て、理事会へ諮る準備を進めている。

h. 研究推進委員会(尾崎委員長)

資料に基づき、報告がなされた。

創薬に繋がることを検討していくタスクフォースを立ち上げ、治験の問題、発売後の問題等を取り上げる。CINPとの連携を図っていく。

(2014年11月21日(金)15:30~18:00会議開催予定)

山脇理事長より、TMSCより石郷岡先生、CINPより齋藤利和先生、池田和隆先生も陪席頂

きたいと依頼がされた。

i. 倫理委員会（利益相反）（中村委員長）

前回理事会で出された意見を踏まえ、倫理委員会にて検討を進めた規定を作成した旨報告がなされた。

j. トランスレーショナル・メディカル・サイエンス委員会（石郷岡委員長）

依頼状況について報告がなされた。

各分会で課題を整理し、学会として報告出来る様進めている旨報告がなされた。

k. 統合失調症ガイドライン作成タスクフォース（石郷岡委員長）

資料に基づき、統合失調症薬物治療法タスクフォースの進捗状況について報告がなされた。

2013年10月26日 第1回会議

タスクフォースの設置を決定

臨床疑問（CQ）、エビデンス、推奨という体裁を確認。

2014年3月15日 第2回会議

各班から提出されたCQ一覧を確認、調整、採否を合議で決定。

エビデンス収集方法などを確認。

2014年9月13日 第3回会議

各班から提出されたCQへの回答を確認

問題点についての討議

推奨の決定方法について決定

今後

2014年11月20日第4回会議 進捗状況と議論点を整理

2014年11月22日年会教育講演にて、タスクフォース議長が進捗の詳細を公表

2014年12月20日第5回会議 合議による推奨の決定

2015年1～2月 暫定版の公表、パブリックコメントの募集

2015年春～夏 意見を参考にした修正、外部評価委員による評価

2015年秋年会 最終版発表

費用

平成26年度厚生労働科学研究費補助金（中込班）「向精神薬の処方実態に関する研究」

に分担研究者：石郷岡純 「統合失調症ガイドラインの作成」として参画。

費用の援助を受けることができた。

このため、2014年1月1日～11月までの当学会からの支出は以下の通り。

第2回会議開催費用 45,274円

l. 日薬連連携ワーキンググループ委員会（山脇理事長）

特に無し。

5. CINP、ACNP、AsCNP 等国际対応について

国際学術委員会報告を参照。

6. 第45回年会（第37回日本生物学的精神医学会との合同開催）準備状況報告（武田次期大会長）

開催日程について議論がなされ、日本神経精神薬理学会としては9月開催希望で日本生物学的精神医学会へ打診することが確認された。

会場：タワーホール船堀

日時：9月24（木）-26（土）または

テーマ：精神・神経疾患におけるトランスレーショナルリサーチの実践と展開（予定）

若手の先生方を中心に組織委員会（基礎臨床から各10名ずつ）を作り、プログラムを組んでいく予定である。

検討事項：年会会費について

日本神経精神薬理学会（以下NP）と日本生物学的精神医学会（以下BP）で、参加費の開きがある問題について、議論がなされた。

BP側の意見は、一度参加費を下げた場合、再度値上げすることは難しい。

会費はNP側が安く、懇親会費はBPが安い状況。

BPの決算書や大会参加人数状況も踏まえ、会費も懇親費も高い方へ合わせることで進めたいとの

提案がなされ、会長判断で進めることが承認された。

II. 協議事項

1. 選挙制度の改定について

前回理事会で承認された、次期理事長の選出・選挙制度について、以下の点について再度検討し、承認された。

- ・理事および監事の選出に関する規則：第2条～「定員の3倍」から「定員の2倍」へ変更
- ・役員被選挙者の年齢：就任時年の9月1日現在で65歳以下とする

2. 法人化について

9月1日付をもって一般社団法人日本神経精神薬理学会が設立されたことが報告された。

- ・第44回年会中開催の評議員会に於いて、任意団体の日本神経精神薬理学会の解散を決議する
- ・2014年12月末時点の任意団体の財産を法人へ寄付金とし移行させる
- ・年会費の徴収について

任意団体と法人団体が並行している期間の会費請求について会員が混乱しない様きちんと説明したうえで、請求をすべきとの意見が出された。この点は、評議員会/総会で総務委員長より説明をすることとなった。

また、法人の規則、規定、内規について、前回理事会での意見を踏まえ、検討された案が資料として提出され、承認された。

3. 理事・監事予備選挙結果報告

資料に基づき、予備選挙結果が報告された。

併せて、本選挙候補者より提出頂いた意向表明も紹介され、評議員/総会会場へ結果を公示することとなった。

【理事：臨床系】 石郷岡純、中込和幸、三村将、曾良一郎、大森哲郎、橋本亮太、岩田仲生、井上猛、(次点)伊豫雅臣、(次々点)武田雅俊

【理事：非臨床系】 池田和隆、山田清文、古屋敷智之、新田淳美、成田年、米田幸雄、内匠透、松田敏夫、(次点)仲田義啓、(次々点)宮川剛

【監事：非臨床系】 松田敏夫、米田幸雄、(次点)福永浩司、(次々点)宮川剛

(得票順：敬称略)

4. 2015年度収支予算案について

財務委員会報告を参照。

2015年度収支予算案について

2014年9月1日から2015年8月31日までの予算案となっている、2014年9月1日から2014年12月31日までは任意団体と並行しており且つ任意団体からの支出となるので、予算案計上の支出より減る可能性がある旨報告がなされたうえで審議がなされ、承認された。

5. 次時期(2016年度)会長選出について

先に執り行われた持回り理事会にて審議・承認された結果に基づき、池田和隆先生が2016年度大会長として選出されたことが報告された。

6. Nomenclature タスクフォースの設置について

ECNPのNomenclature タスクフォースに合わせ、アジアの意見として提出するため、内田裕之委員長を中心に進めていることが報告された。

7. ゼブリオン注に関する要望書について

ゼブリオン注に関する要望書について学会へ提出された意見書について審議がなされた。

一学会が覆すことが出来る内容ではなく、且つ手続きなど複雑なので、難しいとの意見が出された。

学会へ意見を提出された先生へは山脇理事長より、理事会での結果を報告して頂くこととなった。

8. 特別功労賞授与の件

先に執り行われた、持回り理事会にて以下2名の先生へ特別功労賞を授与することが承認された。

佐藤 光源先生 医療法人有恒会こだまホスピタル
鍋島 俊隆先生 (名城大学大学院薬学研究科・薬学部地域医療薬局学講座/
特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構(J-D0))

9. 新功労会員推戴の件

推薦資格を有する先生方へ名誉会員・功労会員の移行希望について伺い、功労会員として以下の3名の先生方から御快諾を得たので、評議員会/総会へ推戴候補者として諮ることが報告された。

中村 三孝先生、渡辺 茂先生、渡邊 泰雄先生 (50音順)

10. 新評議員の承認の件

以下の6名が推薦され、審議の結果、新評議員として評議員会へ推薦することが承認された。(敬省略)

1. 岸本 泰士郎 (慶應義塾大学医学部精神神経科) / 推薦評議員: 山脇成人、橋本均
2. 森岡 徳光 (広島大学大学院医歯薬保健学研究院薬効解析科学) / 推薦評議員: 山脇成人、橋本均
3. 手島 浩慈 (田辺三菱製薬株式会社研究本部薬理第一研究所) / 推薦評議員: 橋本謙二、山本経之
4. 宮本 聖也 (聖マリアンナ医科大学神経精神科学教室) / 推薦評議員: 石郷岡純、久住一郎
5. 金子 周司 (京都大学大学院薬学研究科生体機能解析学) / 推薦評議員: 山脇成人、橋本均
6. 門司 晃 (佐賀大学医学部精神医学講座) / 推薦評議員: 山脇成人、橋本均

11. 新入会希望者承認の件

2014年2月1日から2014年10月31日までに、正会員31名、学生会員25名、計56名の入会申込があったことが報告され、全員が承認された。

12. 業務委託契約について

事務局より2015年度業務委託契約書(案)(2015年1月1日~8月31日)が提出され、審議の結果、委託を継続することが承認された。

13. その他

本年会中に開催される評議員会/総会での本選挙の結果、選出される新役員との新旧合同理事会を、11月21日(金)17:30~18:30 1号館3階135会議室で開催することが決定された。

以上

平成26年11月19日
日本神経精神薬理学会
理事長 山脇 成人